



平成 18 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク レ オ

代表者の役職名 代表取締役社長 川畑 種恭

(登録銘柄 コード番号 9 6 9 8)

問い合わせ先 取締役 土屋 淳一

TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 18 年 3 月期業績予想の修正について

平成 17 年 3 月 10 日付当社「平成 18 年 3 月期業績予想の修正並びに配当予想の修正について」において発表いたしました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下表の通り修正いたします。

記

1. 業績予想及び配当予想修正について

平成 18 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	10,600	110	260
今回修正(B)	10,500	90	160
増減額(B-A)	100	20	100
増減率	0.9%	-%	-%
前期(平成 17 年 3 月期)実績	9,097	581	872

平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	14,500	50	260
今回修正(B)	14,600	1	210
増減額(B-A)	100	51	50
増減率	0.7%	-%	-%
前期(平成 17 年 3 月期)実績	11,010	416	826

2. 修正理由

(1) 通期業績

売上については、ほぼ予定どおり推移いたしました。経常利益については、経費削減等により、当期利益については、ソフトウェア資産の売却により損失が減少する見込みであります。

これらの結果、売上高は 10,500 百万円、経常損失は 90 百万円、当期損失は 160 百万円となる見込みです。

(2) 通期連結業績

当社の業績修正に加え、子会社において顧客検収の増加により増益となっております。

(3) CBMS 事業の状況

新製品（Zeem 人給）をお買い上げ頂いたお客様にご迷惑をおかけした、品質の初期不良の問題は解決する目途がたちました。

また、商談状況も年度末一部の顧客検収がずれ込んでおりましたが、新年度に入り、受注が確定してきております。新規の受注についても品質強化の目処がついてきたことに伴い、営業活動も積極的に展開する予定です。

以上